

2022年 旅行業の倒産状況

2023年1月13日
プレスリリース

倒産概況

2022（令和4）年 旅行業の倒産

（負債額1,000万円以上の企業倒産）

	倒産件数	負債総額
	18 件	18億3,200万円
前年比	▲ 41.93%	▲ 57.62%
2021（令和3）年	31 件	43億2,300万円

※TSRの倒産集計は、1952年の集計開始以来、法的倒産と私的倒産を含む

問合先：経済研究室
電 話：03(6910)3157

倒産件数は18件で3年ぶりに減少 9割超が「新型コロナ関連倒産」

2022年（1-12月）の「旅行業」倒産（負債1,000万円以上）は18件（前年31件）で、7年ぶりに30件台まで増加した前年から41.9%減少し、3年ぶりに前年を下回った。2022年は継続して行われた無利子・無担保融資（ゼロ・ゼロ融資）や債務返済猶予の特例措置、雇用調整助成金などの支援策のほか、3月下旬にまん延防止等重点措置が解除されたことで、国内旅行の需要回復が後押しした。負債総額は18億3,200万円（前年比57.6%減）で、過去20年で2019年（14億2,100万円）に次ぐ低水準となった。これは、倒産件数の減少に加え、5億円以上の倒産が1件（前年3件）と2件減少したため。

一方、「新型コロナウイルス関連倒産は17件（構成比94.4%）で倒産の9割超を占めた。倒産件数自体は減少に転じたものの、海外旅行をメインに扱う事業者を中心に、長期化するコロナ禍が経営に影響し、新型コロナを要因とした倒産の割合が高まっている。

旅行業の倒産 月次推移

（負債総額単位：百万円）

年 月	2019(令和1)年		2020(令和2)年		2021(令和3)年		2022(令和4)年	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
1月	3	209	3	260	2	96	0	0
2月	3	182	4	136	4	104	4	134
3月	4	166	5	422	3	207	1	190
4月	1	100	1	178	3	1,017	0	0
5月	2	40	0	0	2	82	2	675
6月	1	35	2	27,845	4	244	4	161
7月	2	73	2	21	1	97	3	325
8月	1	200	1	250	4	774	0	0
9月	2	122	0	0	2	160	0	0
10月	0	0	6	775	0	0	0	0
11月	4	204	2	85	4	999	4	347
12月	2	90	0	0	2	543	0	0
年計	25	1,421	26	29,972	31	4,323	18	1,832

各種動向

原因別では、最多が「販売不振」の13件（前年比48.0%減、前年25件）で、旅行業倒産の7割（構成比72.2%）を占めた。このほか、「他社倒産の余波」が4件（前年2件）、「既往のシワ寄せ」が1件（同2件）だった。

形態別では、破産が16件（前年比44.8%減）で、全体の約9割（構成比88.8%）を占めた。このほか、特別清算（前年1件）と内整理（同ゼロ）が各1件と続いた。

資本金別では、1千万円以上5千万円未満が12件（前年比20.0%減）で、全体の6割（構成比66.6%）を占めた。

負債額別では、1千万円以上5千万円未満8件（前年比38.4%減）が最多で、全体の4割（構成比44.4%）を占めた。次いで、5千万円以上1億円未満が5件（同27.7%）で続き、負債1億円未満の倒産が全体の7割超（同72.2%）を占めた。

従業員数別では、5人未満が14件（前年比41.6%減）で約8割（構成比77.7%）を占めた。

地区別では、関東10件（同12件）が最多。都道府県別では、東京都7件（前年10件）、大阪府が前年と同数の4件で、都市部の事業者を中心とした推移だった。

主な倒産事例・今後の見通し

（株）アイ・テイ・エス（TSR企業コード:291601618、東京都港区）は5月6日、東京地裁から特別清算開始決定を受けた。

フランスや北欧などヨーロッパ旅行を主力に、ツアーの企画や航空券付きパックの販売をしていた。ピーク時の2007年7月期には年間売上高約58億8,100万円をあげていた。しかし、2020年以降は新型コロナウイルスの感染拡大により、従前通りの営業が困難となり、2020年7月期の年間売上高は約22億8,500万円まで減少。その後も海外渡航の長期化など、業況の改善が見込めないことから、自力での事業継続を断念し、2020年12月、旅行事業を上場企業の子会社に譲渡。2022年2月23日株主総会の決議により解散した。負債は6億2,500万円。

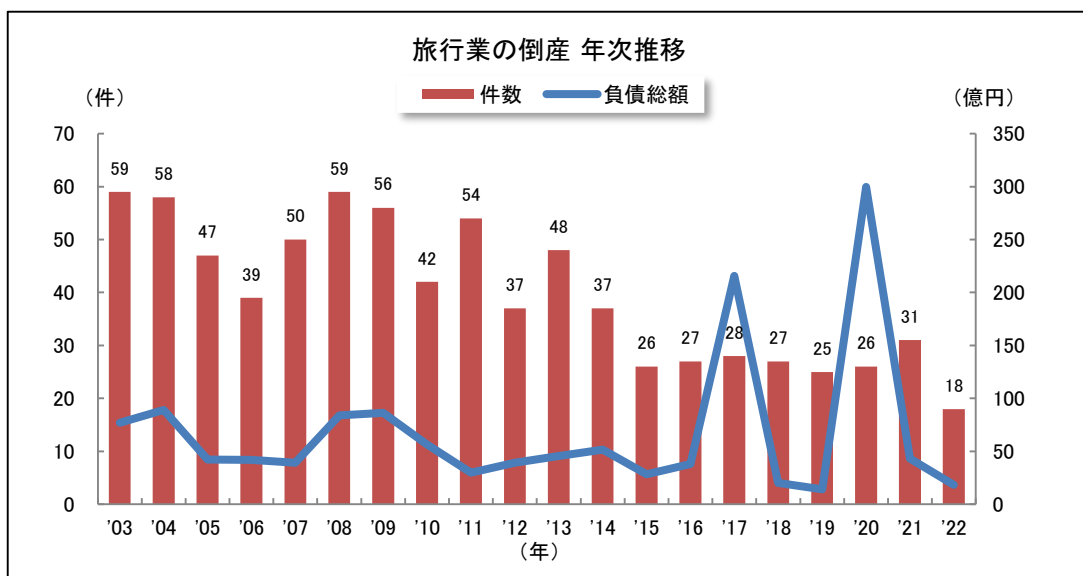
（株）KJナビツアーズ（TSR企業コード:330262920、東京都新宿区）は11月2日、東京地裁から破産開始決定を受けた。

第2種旅行業者で、北朝鮮旅行に特化した旅行代理店を運営していた。「大同江ナビツアー」として知られ、自社で北朝鮮の名所をめぐるツアーを企画。2009年3月期には売上高約6億1,500万円をあげていた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により事業が行えない状況となり、2020年3月期には789万円の赤字を計上し、債務超過が拡大した。渡航制限が続くなか、業況の改善も見込めないため2022年7月に事業を停止していた。負債は1億2,600万円。

2022年10月、これまで1日当たり5万人に制限されていた入国者数の上限が撤廃された。以降、訪日外客数は増加し、11月の入国者数（推定）は93万4,500人と2021年同月（2万682人）から4418.4%増となった。

一方、インバウンド、国内旅行の需要が急伸する一方で、円安により、海外旅行需要は精彩を欠く状況が続く。11月の出国日本人数（推定）は37万9,200人とコロナ禍前の2019年同月比で76.9%減にとどまり、訪日外客数（同61.7%減）に比べ回復に時間を要している。2023年はゼロ・ゼロ融資の返済開始も本格化するなか、堅調な国内観光に反して、海外旅行を主力に展開する事業者や、資金余力に欠く小・零細事業者では、先行きの不透明感によるあきらめ型を中心に、倒産が再び増勢に転じる懸念もある。

年次推移



旅行業の倒産 年次推移

年	件数		負債総額		平均 負債額
	(件)	前年比	(百万円)	前年比	
2003年	59	0.00%	7,711	▲60.95%	130
2004年	58	▲1.69%	8,914	15.60%	153
2005年	47	▲18.96%	4,230	▲52.54%	90
2006年	39	▲17.02%	4,182	▲1.13%	107
2007年	50	28.20%	3,915	▲6.38%	78
2008年	59	18.00%	8,398	114.50%	142
2009年	56	▲5.08%	8,623	2.67%	153
2010年	42	▲25.00%	5,641	▲34.58%	134
2011年	54	28.57%	2,988	▲47.03%	55
2012年	37	▲31.48%	3,923	31.29%	106
2013年	48	29.72%	4,545	15.85%	94
2014年	37	▲22.91%	5,149	13.28%	139
2015年	26	▲29.72%	2,829	▲45.05%	108
2016年	27	3.84%	3,818	34.95%	141
2017年	28	3.70%	21,573	465.03%	770
2018年	27	▲3.57%	2,029	▲90.59%	75
2019年	25	▲7.40%	1,421	▲29.96%	56
2020年	26	4.00%	29,972	2009.21%	1,152
2021年	31	19.23%	4,323	▲85.57%	139
2022年	18	▲41.93%	1,832	▲57.62%	101

2022(令和4)年旅行業 原因別倒産状況

主因	明細	件数				負債総額(百万円)			
		当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
放漫経営	事業上の失敗	0	0.00%	▲100.00%	1	0	0.00%	▲100.00%	53
	事業外の失敗	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
	融手操作	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
	(小計)	(0)	(0.00%)	(▲100.00%)	(1)	(0)	(0.00%)	(▲100.00%)	(53)
過小資本	運転資金の欠乏	0	0.00%	▲100.00%	1	0	0.00%	▲100.00%	75
	金利負担の増加	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
	(小計)	(0)	(0.00%)	(▲100.00%)	(1)	(0)	(0.00%)	(▲100.00%)	(75)
他社倒産の余波		4	22.22%	100.00%	2	101	5.51%	225.80%	31
既往のシワ寄せ	①赤字累積	1	5.55%	▲50.00%	2	625	34.11%	12.41%	556
信用性低下	取引先の打切り	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
販売不振	②	13	72.22%	▲48.00%	25	1,106	60.37%	▲69.34%	3,608
売掛金等回収難	③	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
在庫状態悪化		0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
設備投資過大		0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
その他	偶発的原因	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
合計		18	100.00%	▲41.93%	31	1,832	100.00%	▲57.62%	4,323
不況型倒産(①+②+③)		14	77.77%	▲48.14%	27	1,731	94.48%	▲58.42%	4,164

2022(令和4)年旅行業 地区別倒産状況

地区	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
北海道	0	0.00%	▲100.00%	1	0	0.00%	▲100.00%	10
東北	0	0.00%	▲100.00%	2	0	0.00%	▲100.00%	54
関東	10	55.55%	▲16.66%	12	1,027	56.05%	▲53.67%	2,217
中部	0	0.00%	▲100.00%	2	0	0.00%	▲100.00%	49
北陸	1	5.55%	▲50.00%	2	14	0.76%	▲54.83%	31
近畿	4	22.22%	0.00%	4	431	23.52%	▲60.60%	1,094
中国	1	5.55%	▲50.00%	2	130	7.09%	71.05%	76
四国	0	0.00%	▲100.00%	1	0	0.00%	▲100.00%	88
九州	2	11.11%	▲60.00%	5	230	12.55%	▲67.32%	704
合計	18	100%	▲41.93%	31	1,832	100%	▲57.62%	4,323

2022(令和4)年 主な「旅行業」の倒産

企業コード	商号	所在地	資本金 (千円)	負債額 (百万円)	倒産原因	倒産形態
291601618	(株)アイ・ティ・エス	東京都	96,000	625	既往のシワ寄せ	特別清算
575881917	(有)国際観光	大阪府	33,000	270	販売不振	破産
952082098	(株)HANS ADVENTURE	沖縄県	10,000	190	販売不振	内整理
742081893	(有)トラベルアイ	広島県	12,500	130	販売不振	破産
330262920	(株)KJナビツアーズ	東京都	10,000	126	販売不振	破産
576875317	(株)アイランドカンパニー	大阪府	10,000	91	販売不振	破産
274937115	(株)TTRツアー	群馬県	17,000	61	販売不振	破産
026144018	(株)TTN JAPAN	東京都	13,000	50	販売不振	破産
025096966	ロイヤルジャパンツアーズ(株)	大阪府	20,000	50	販売不振	破産
293950148	(株)アプローチャジャパン	東京都	10,000	50	販売不振	破産

2022(令和4)年旅行業 形態別倒産状況

形態	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
会社更生法	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
民事再生法	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
(再建型)	(0)	(0.00%)	－	(0)	(0)	(0.00%)	－	(0)
破産	16	88.88%	▲44.82%	29	1,017	55.51%	▲76.23%	4,279
特別清算	1	5.55%	0.00%	1	625	34.11%	6150.00%	10
(消滅型)	(17)	(94.44%)	(▲43.33%)	(30)	(1,642)	(89.62%)	(▲61.71%)	(4,289)
法の倒産	17	94.44%	▲43.33%	30	1,642	89.62%	▲61.71%	4,289
取引停止処分	0	0.00%	▲100.00%	1	0	0.00%	▲100.00%	34
内整理	1	5.55%	－	0	190	10.37%	－	0
私倒産	1	5.55%	0.00%	1	190	10.37%	458.82%	34
合計	18	100%	▲41.93%	31	1,832	100%	▲57.62%	4,323

2022(令和4)年旅行業 資本金別倒産状況

資本金	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
1億円以上	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
5千万円以上	1	5.55%	▲80.00%	5	625	34.11%	▲56.10%	1,424
1千万円以上	12	66.66%	▲20.00%	15	1,103	60.20%	▲55.70%	2,490
5百万円以上	1	5.55%	▲75.00%	4	40	2.18%	▲80.67%	207
1百万円以上	3	16.66%	▲25.00%	4	40	2.18%	▲51.80%	83
1百万円未満	1	5.55%	－	0	24	1.31%	－	0
個人企業他	0	0.00%	▲100.00%	3	0	0.00%	▲100.00%	119
合計	18	100%	▲41.93%	31	1,832	100%	▲57.62%	4,323

2022(令和4)年旅行業 負債額別倒産状況

負債額	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
10億円以上	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
5億円以上	1	5.55%	▲66.66%	3	625	34.11%	▲73.53%	2,362
1億円以上	4	22.22%	0.00%	4	716	39.08%	▲20.62%	902
5千万円以上	5	27.77%	▲54.54%	11	302	16.48%	▲59.57%	747
1千万円以上	8	44.44%	▲38.46%	13	189	10.31%	▲39.42%	312
合計	18	100%	▲41.93%	31	1,832	100%	▲57.62%	4,323

2022(令和4)年旅行業 従業員数別倒産状況

従業員数	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
300人以上	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
50～299人	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
20～49人	1	5.55%	0.00%	1	61	3.32%	▲68.87%	196
10～19人	1	5.55%	▲80.00%	5	190	10.37%	▲92.31%	2,473
5～9人	2	11.11%	100.00%	1	320	17.46%	540.00%	50
～4人	14	77.77%	▲41.66%	24	1,261	68.83%	▲21.38%	1,604
合計	18	100%	▲41.93%	31	1,832	100%	▲57.62%	4,323

倒産概況

2022（令和4）年12月度 旅行業の倒産

（負債額1,000万円以上の企業倒産）

	倒産件数	負債総額
	0 件	0円
前年同月比	▲ 100.00%	▲ 100.00%
2021年12月	2 件	5億4,300万円
前月比	▲ 100.00%	▲ 100.00%
2022年11月	4 件	3億4,700万円

※TSRの倒産集計は、1952年の集計開始以来、法的倒産と私的倒産を含む

問合せ先：経済研究室
電 話：03(6910)3157

12月は2カ月ぶりが倒産ゼロ

12月の旅行業の倒産は、10月から2カ月ぶりに発生がなかった。2022年（1-12月）の倒産件数は18件（前年比41.9%減）で、2019年（25件）以来、3年ぶりに前年を下回った。2022年は倒産発生ゼロの月が計6カ月あり、国内旅行の需要回復や、政府の資金繰り支援策により、年間を通じて企業倒産は低水準で推移した。

「新型コロナウイルス関連倒産」は年間で17件（前年比32.0%減、前年25件）発生し、倒産全体の9割超（構成比94.4%）を占めた。構成比は前年（80.6%）から13.8ポイント上昇し、コロナ禍を背景とした倒産の割合が高まっている。

インバウンドの回復が顕著である一方、為替の影響等により渡航需要には不透明感も強く、海外旅行を主力に展開する事業者では、当面我慢の経営が続きそうだ。

2022(令和4)年12月度旅行業 負債額別倒産状況

負債額	件数				負債総額(百万円)			
	当月	構成比	前年同月比	前年同月	当月	構成比	前年同月比	前年同月
10億円以上	0	-	-	0	0	-	-	0
5億円以上	0	-	▲100.00%	1	0	-	▲100.00%	512
1億円以上	0	-	-	0	0	-	-	0
5千万円以上	0	-	-	0	0	-	-	0
1千万円以上	0	-	▲100.00%	1	0	-	▲100.00%	31
合計	0	-	▲100.00%	2	0	-	▲100.00%	543